

内部仕上表

注記：「床高」「スラブ高」はFL±0に対する値とし、記載なき限り「床高」はFL±0、「スラブ高」はFL-10とする。
注記：「撤去」欄は、「●」は全撤去、「○」は部分撤去を示す。

注記：「撤去」欄は、「●」は全撤去、「○」は部分撤去を示す。

注記：「新設」欄は、「●」は全新設、「○」は部分新設を示す。

注記：「[※]」「[＊]」は別紙（RA-050、052）壁種別による
注記：グレー着色部アスベスト含有建材を示す

注記：改修前と改修後で床仕上の異なる部には不陸調敷（セラコトベリ）

注記：改修前と改修後で床仕上の異なる室には不陸調整（セルフレベリング）等を

改修前

記事

中華建築事務所

四

令和 7年 9月

RA-01

设计未尽

第10页

三

国立大学法

人 滋賀医科大学

字 施設課

上

滋賀医科

同上

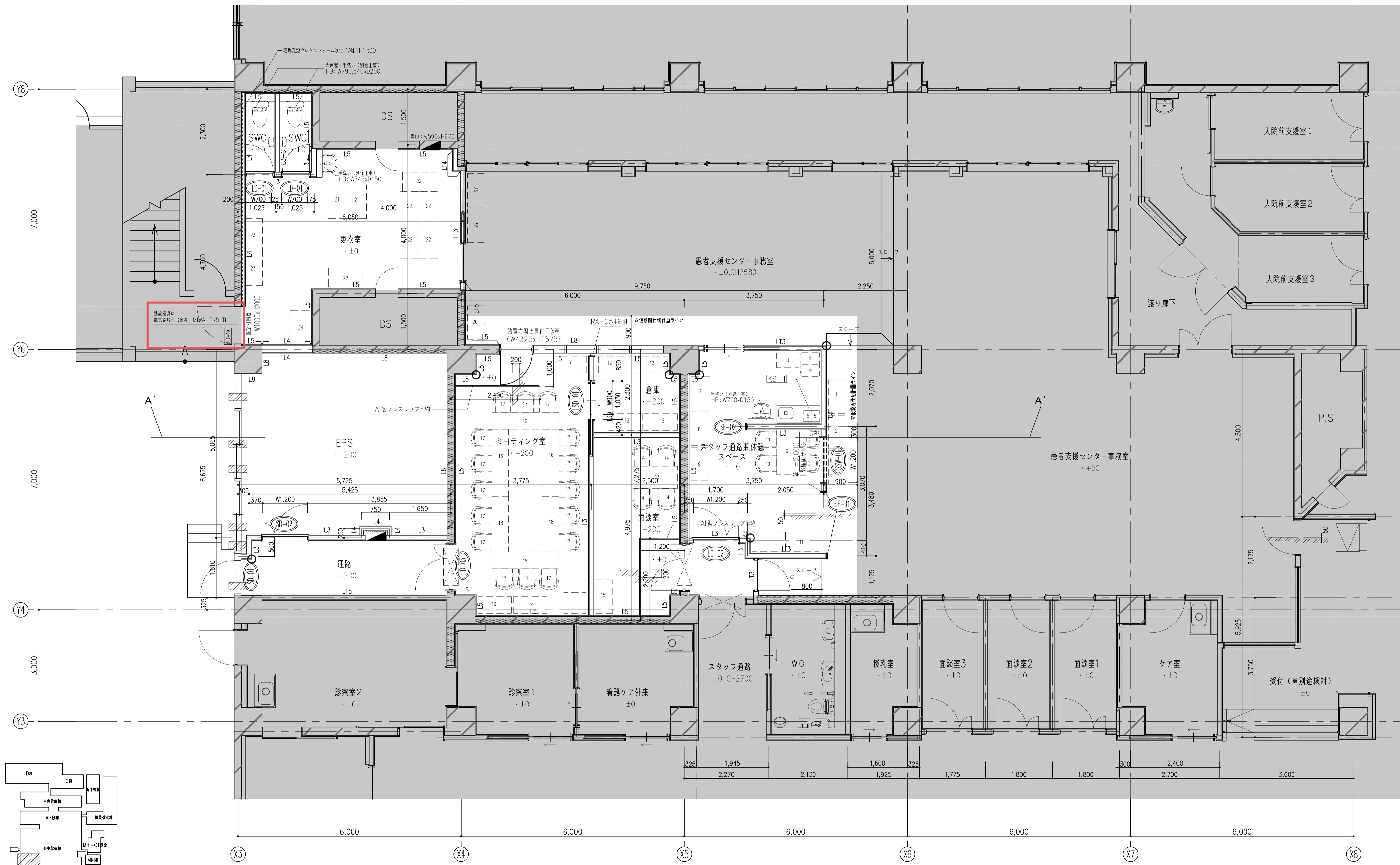
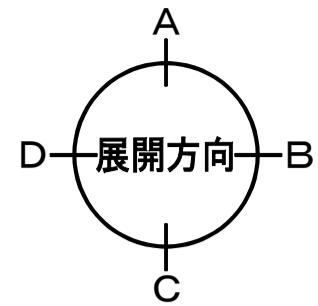
外來診療補植等改修

その他の工事

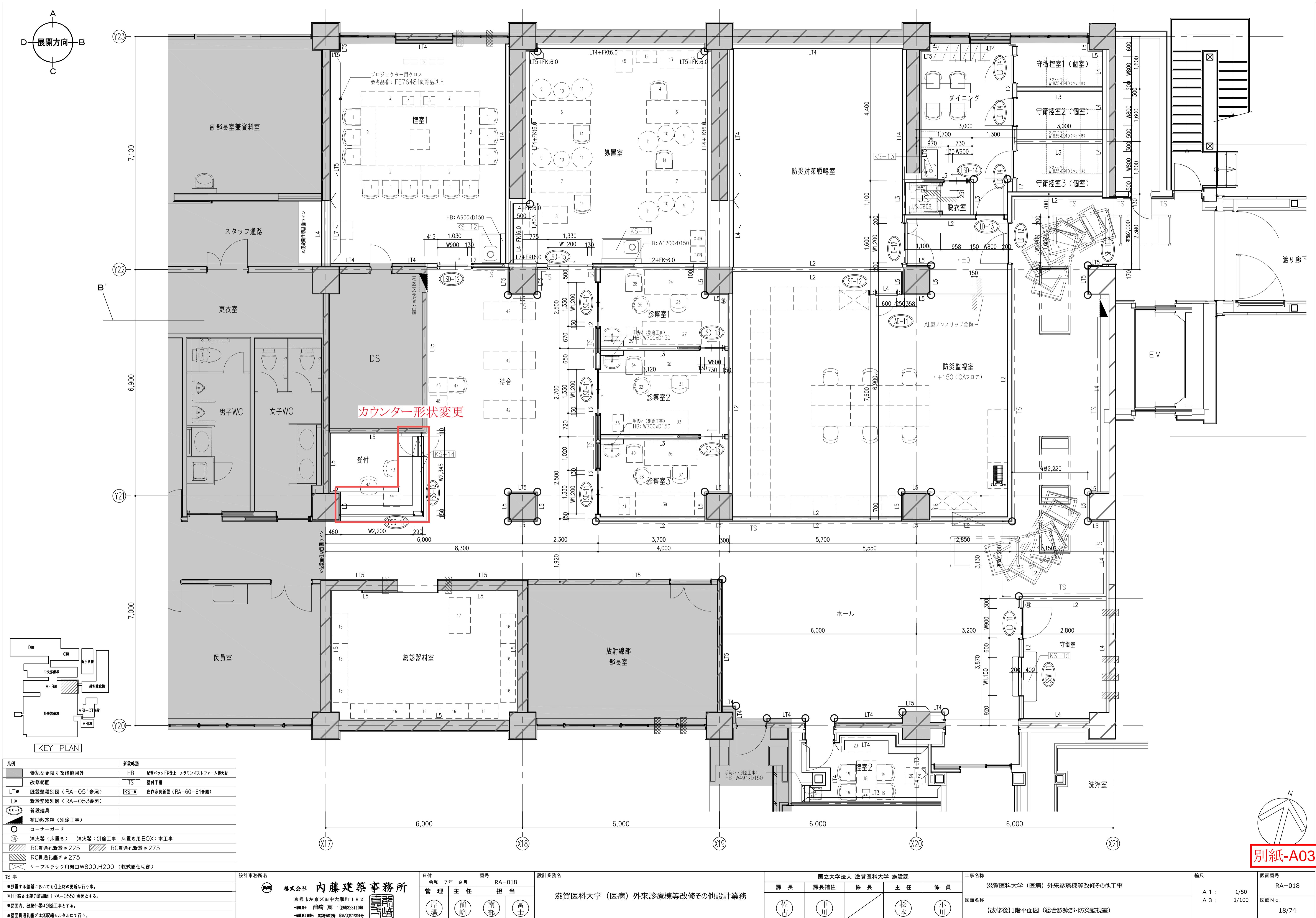
相代

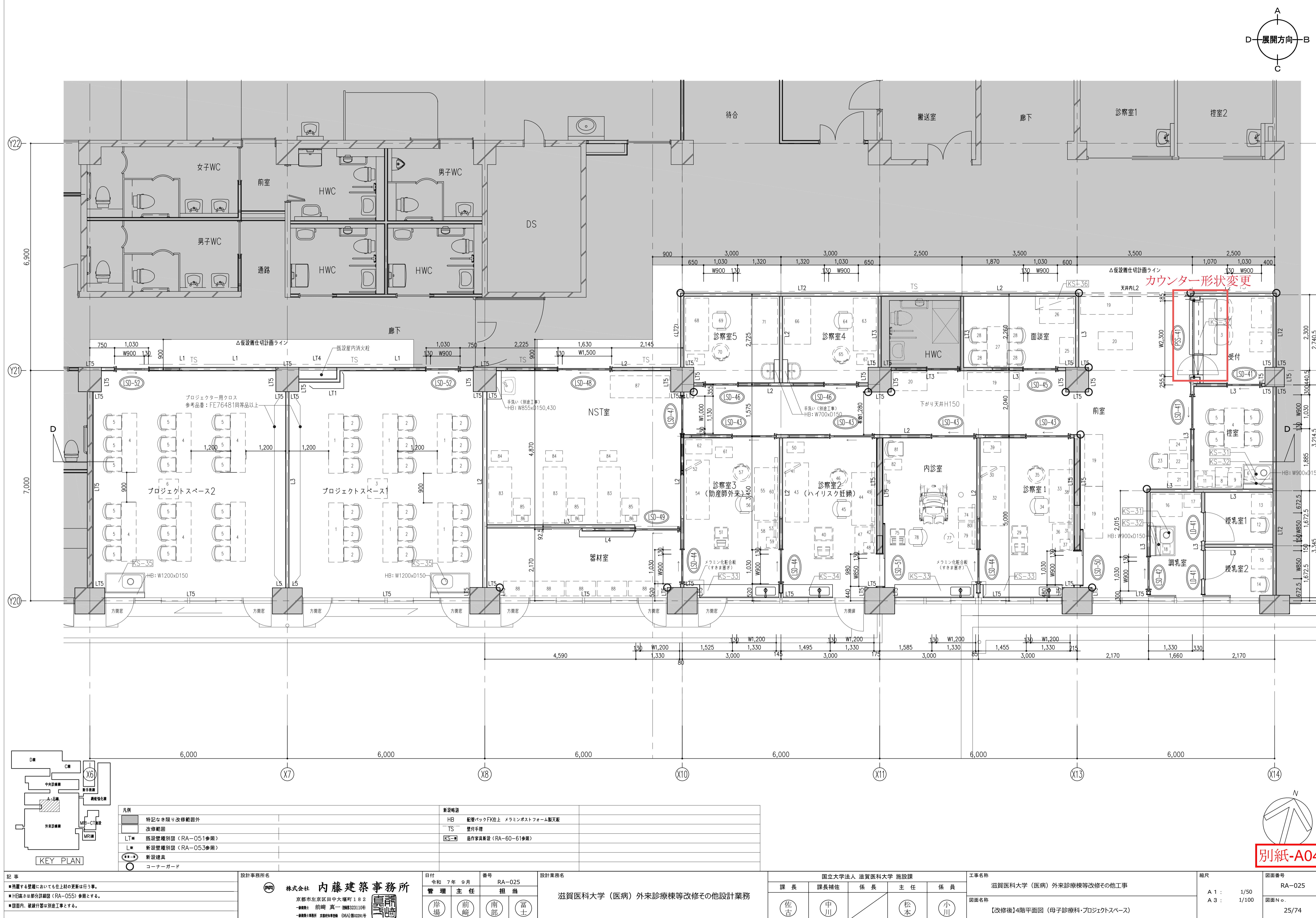
1

凡例	新設略語		
	特記なき限り改修範囲外		改修建具 HB 配管パックFK仕上 メラミンポストフォーム製天板
	改修範囲		RC貫通孔新設 ø 275 TS 壁付手摺
	耐震壁を示す。		補助散水栓（別途工事） RC貫通孔塞ぎ ø 275 KS-* 造作家具新設（RA-60-61参照）
LT*	既設壁種別図（RA-051参照）		コーナーガード
L*	新設壁種別図（RA-053参照）		ケーブルラック用開口W800,H200（RC部）
LT*	既設壁種別図（RA-051参照）		消火器（床置き）
L*	新設壁種別図（RA-053参照）		消火器：別途工事 床置き用BOX：本工事
LT*	新設建具		RC貫通孔新設 ø 225



別紙-A02



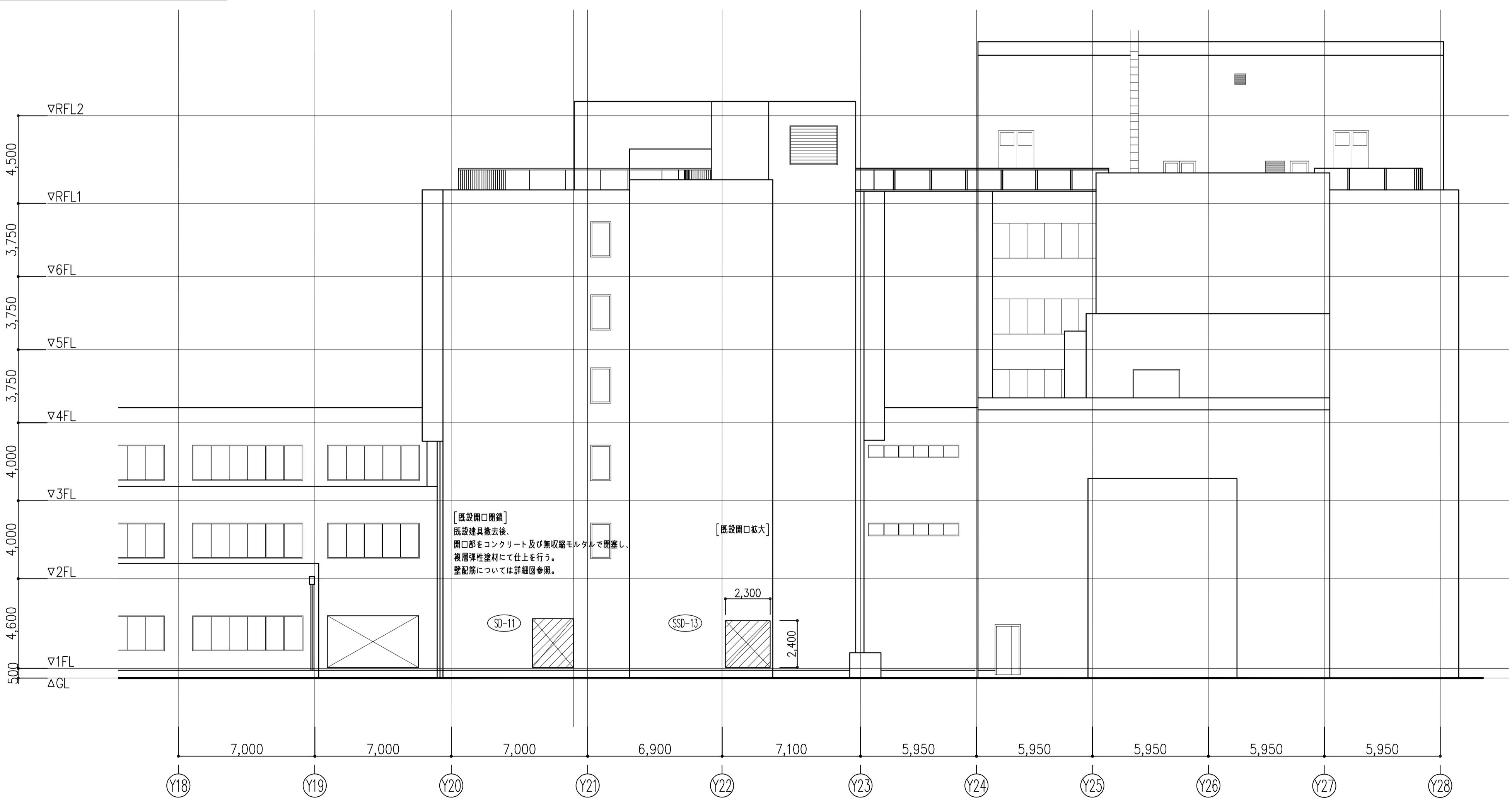
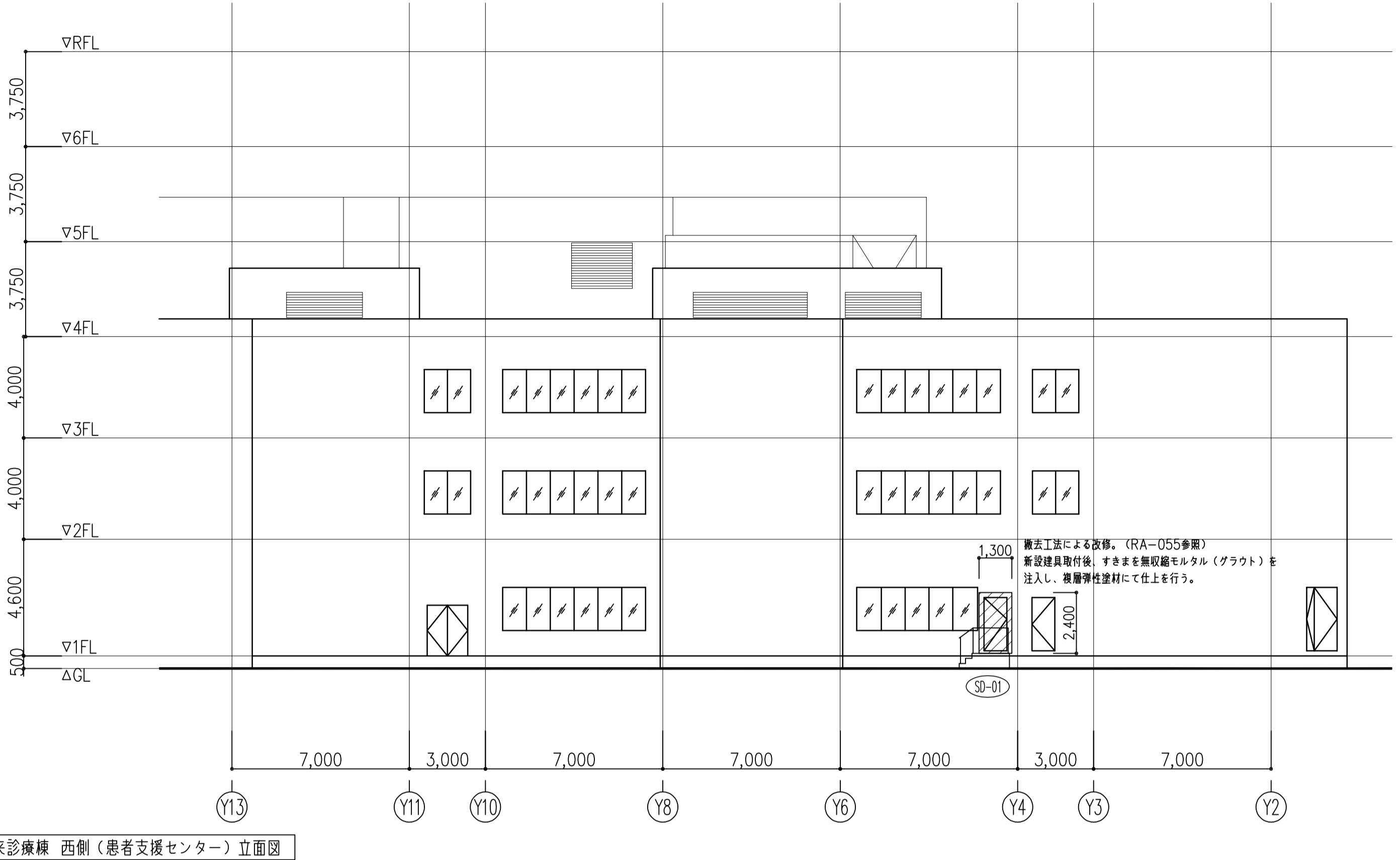
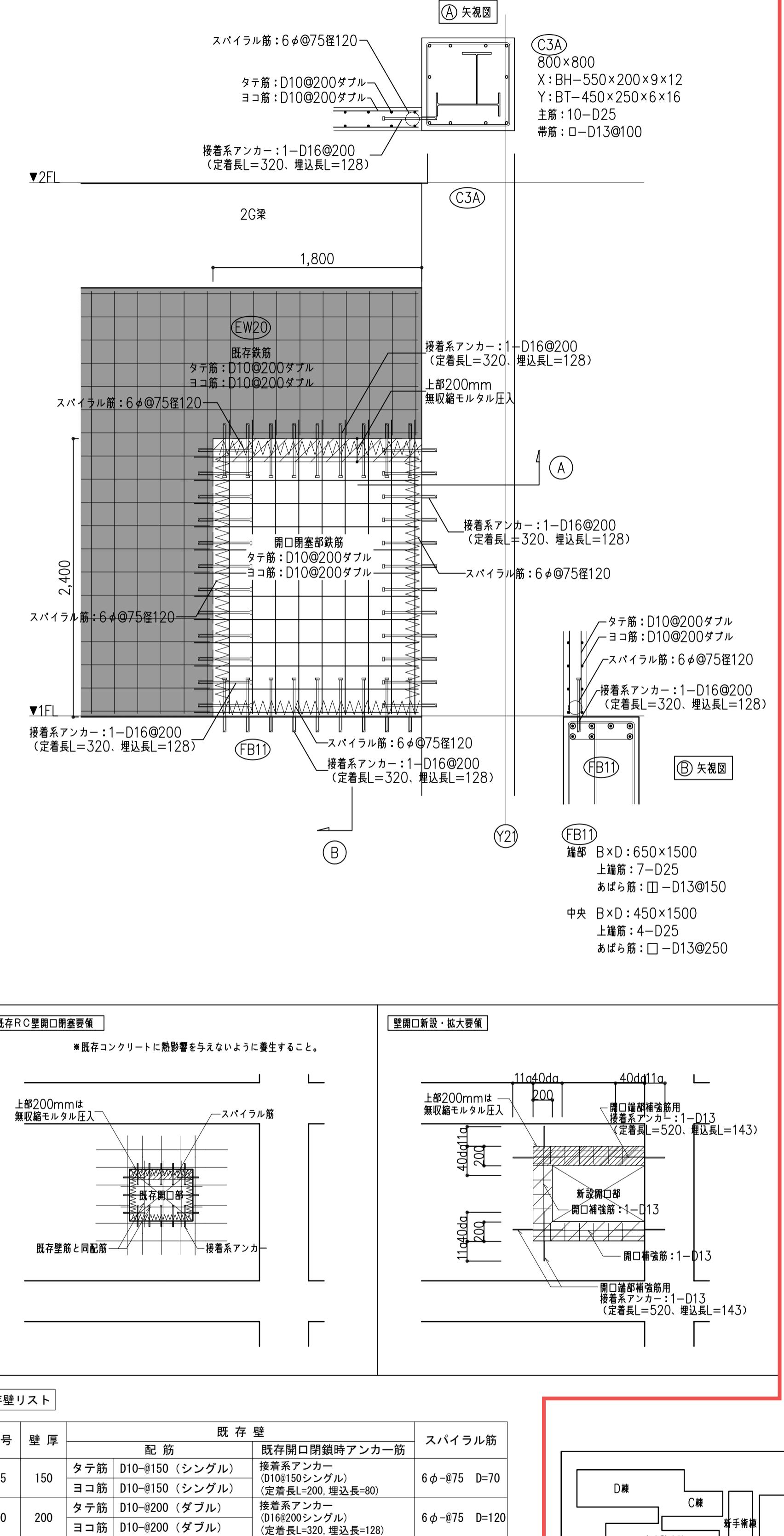


躯体改修における施工要領追加

構造特記

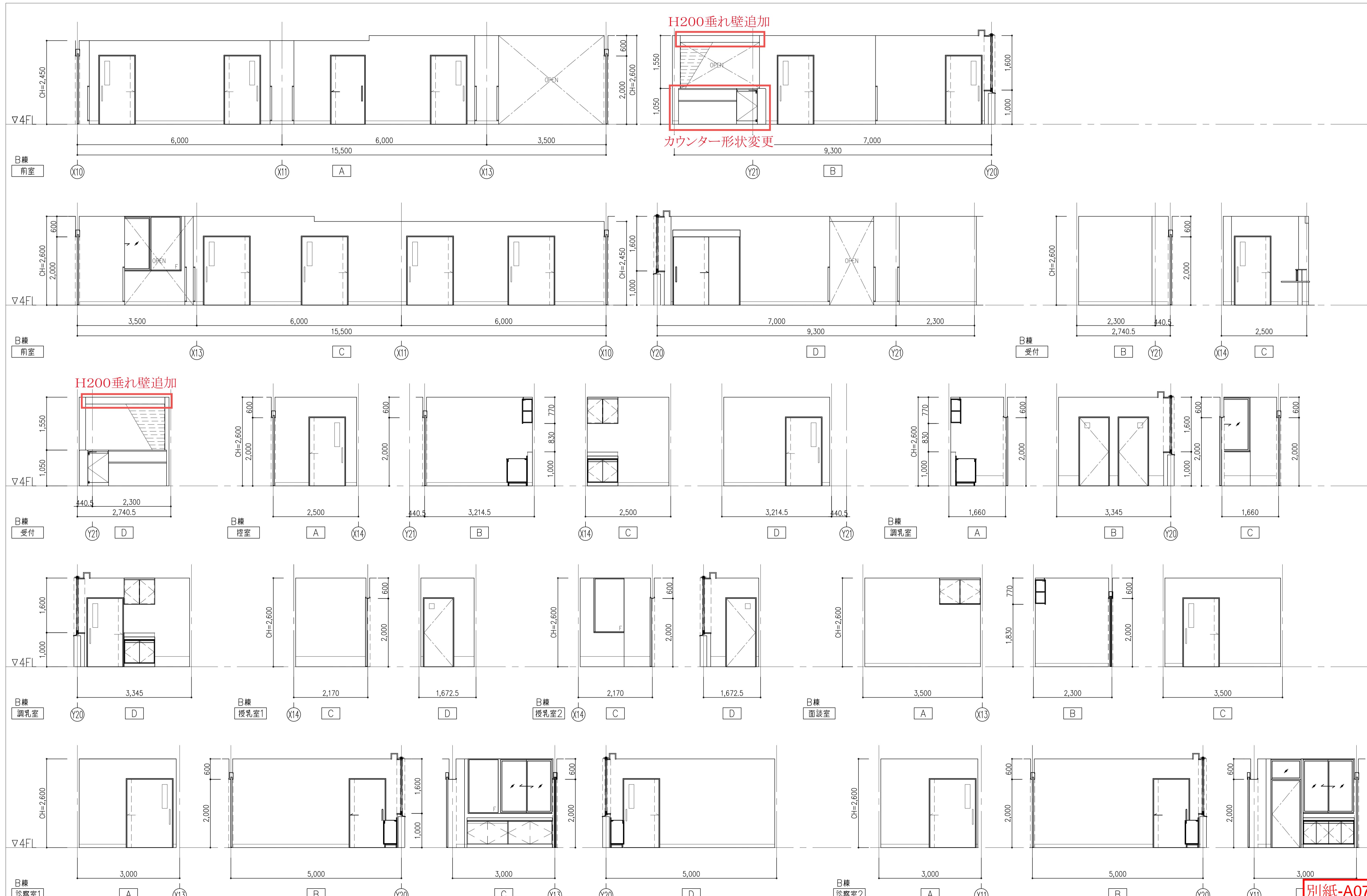
- 特記なき事項については、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」による。
- 使用材料
 - コンクリート
種別 普通コンクリート
設計基準強度: $F_c = 21$ (JIS規格品)
所要スランプ: 18 cm
単位水量の上限値: 185 kg/m³
構造体強度補正値の有無: 有
セメント 普通ポルトランドセメント
2) 無収縮モルタル $F_m = 3.0 \text{ N/mm}^2$
 - 鉄筋 JIS G 3112 SD 295 (規格品) D 16 以下
 - スパイラル筋 JIS G 3552 SWM-1 (規格品)
 - あと施工アンカー <接着系アンカー>
事前に鉄筋探査を行い、既存躯体部筋を避けた位置を孔削すこと。施工後に確認引張試験を行うこと。
本体 カーブセル型接着系アンカー（ガラス管、有機系）
(財)日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート建造物の耐震改修設計指針・同解説」に示された算定式によって設計耐力を安全側に評価できるものを使用。
アンカー筋 JIS G 3112 SD 295 (規格品) D 16 以下
打音検査 アンカーが適切に固定されているか否か、監督職員立会いのもとに全数の打音検査を行い、その固着全数の打音検査を行い、その固着度を確認する。
固着力の検査 接着系樹脂アンカーのみに実施
(非破壊検査) 非破壊検査は各補強面1箇所につき、全本数の3%（最低3本）以上を対象として引張加力試験を行う。試験方法などについては、監理者と協議し実施すること。不合格の場合には、その補強構面の全数を試験する。
引張試験値 D13 (25.0kN)、D16 (31.6kN)
検査の結果、不合格となったものは、切断等の処置をし、その付近の位置に再施工すること。
再施工を行ったアンカーは、上記の試験を行い、正しく施工されていることを確認する。
 - 注意事項
 - 壁配筋の材料の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状にあつた寸法に加工すること。
 - 既存コンクリート躯体との接觸面については、既存コンクリート表面の目荒らし平均深さ10 mm程度を行って、十分に清掃すること。
 - コンクリート打ち込み前には、せき板・既設コンクリート表面などを充分に水温しを行うこと。
 - コンクリートの打設にはパイプレーラーの使用、又はタキにより密なコンクリートとなるように充分な施工計画を立てること。
 - コンクリートの強度発現期間内は十分な湿润状態で養生すること。また、養生期間中は振動を与えないよう注意すること。
 - 図面寸法については、現地再検査を行うこと。

壁配筋詳細図 (SD-11) 1/30



記 事	設計事務所名	日付	番号	設計業務名	工事名称	縮 尺	図面番号
改修範囲を示す。	株式会社 内藤建築事務所	令和7年 9月	RA-026	滋賀医科大学（医病）外来診療棟等改修その他設計業務	滋賀医科大学（医病）外来診療棟等改修その他工事	A 1 : 1/150 A 3 : 1/300	RA-026 図面No. 26/74

別紙-A05



記事	設計事務所名	日付 令和 7年 9月	番号 RA-033	設計業務名	工事名称	縮尺	図面番号
	株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町182 一級建築士事務所登録証第02291号 	管理主任 担当 (岸場) (前崎) (南部) (富士)		滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他設計業務	滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他工事	A 1 : 1/50 A 3 : 1/100	RA-033

別紙-A07

記号	型式	個数	(SF-01)	一方枠	1	(SF-11)	鋼製三方枠	1	(SF-12)	鋼製三方枠	1	(AD-01)	アルミ製引違い戸	1	(AW-11)	アルミ製窓	2	(AW-41)	アルミ製窓	1				
場所				1階 患者支援センター			1階 救急科		1階 救急科		1階 患者支援センター		1階 救急科		4階 光学医療診療部									
	スタッフ通路			シャワー室			スタッフステーション		倉庫2		観察室2・3		透視室											
	撤去			撤去			撤去		撤去		撤去		撤去		撤去		撤去		撤去					
姿図																								
枠材質	枠仕上	枠見込	ST	SOP	170	ST	SOP	170	ST	SOP	170	AL	B-2	170	AL	B-2	170	AL	B-2	170				
枠材質	扉仕上	扉見込				ST	SOP		ST	SOP		AL	B-2											
WxH	額縁(見込)	2700		750x2000			800x2000		1750x2000			1050x1000			1000x1000									
硝子	杏摺											FL4			鉛ガラス6									
金物																								
備考																								
記号	型式	個数	(WD-01)	木製戸	1	(WD-02)	木製戸	1	(WD-03)	木製戸	1	(PT-01)	可動間仕切	1	(PT-02)	可動間仕切	1	(PT-11)	可動間仕切	1	(PT-41)	可動間仕切	1	
場所				1階 患者支援センター		1階 患者支援センター		1階 患者支援センター		1階 患者支援センター		1階 救急科			4階 光学医療診療部									
	守衛室			守衛室			倉庫2		倉庫		倉庫		廊下・待合		服用室									
姿図																								
枠材質	枠仕上	枠見込	W		120	W		120	W		120	ST		ST		ST		ST		ST		ST		
枠材質	扉仕上	扉見込	W			W			W			ST												
WxH	額縁(見込)	1400x2000		1000x2000		1550x2000		1903x2500		1335x2500		4460x2000			4625x2600									
硝子	杏摺																							
金物																								
備考																								
記号	型式	個数	SD-1*	鋼製戸	1																			
場所				1階 患者支援センター																				
				倉庫1																				
姿図																								
枠材質	枠仕上	枠見込	ST	SOP	170																			
枠材質	扉仕上	扉見込	ST	DP塗装	40																			
WxH	額縁(見込)	1000x2000																						
硝子	杏摺																							
金物				自動施錠型電池式テンキーワード【参考:MIWA_TK5LT】取付																				
備考				既設塗装やり替え。(下地処理、DP塗装)																				

別紙-A08

記事	設計事務所名	日付	番号	設計業務名	工事名称	縮尺	図面番号
(電) : 電気錠 (ICタイプ)	(自) : 自動ドア	令和7年9月	RA-038	国立大学法人 滋賀医科大学 施設課	滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他工事	A 1 :	RA-038
(電) : 電気錠 (電池式テンキータイプ)		管理主任	担当	滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他設計業務	課長補佐 係長 主任 係員	A 3 :	
(特) : 特定防火設備		(岸場)	(前崎)	(佐古)	(中川)		
(防) : 防火設備		(南部)	(富士)	(松本)	(小川)		図面名称 [撤去]建具表 (3)
						A 1 : 1/50 A 3 : 1/100	図面No. 38/74

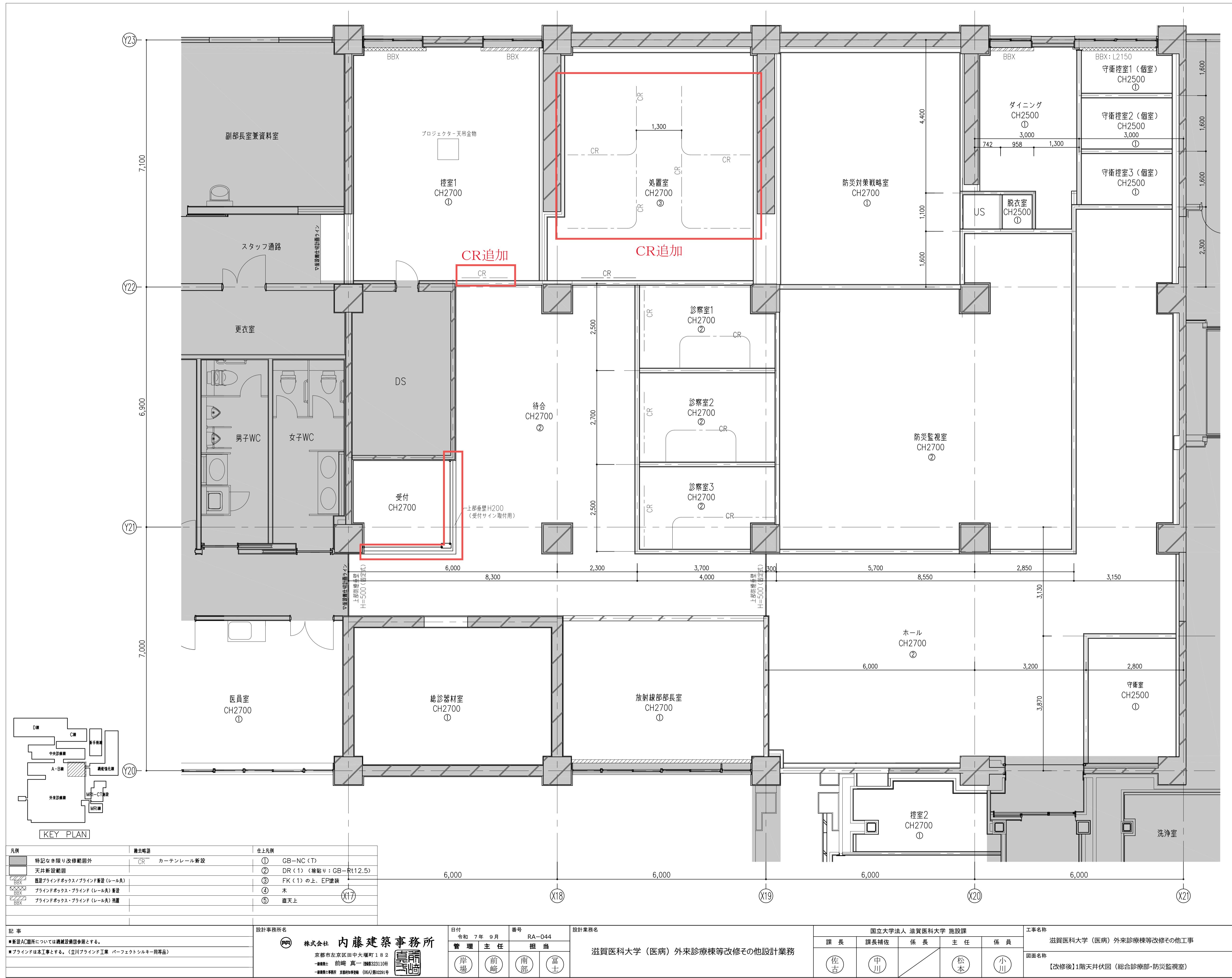
凡例		新設略語	仕上凡例
	特記なき限り改修範囲外	CR カーテンレール新設	① GB-NC(T)
	天井新設範囲		② DR(1) (捨貼り: GB-Rt12.5)
	既設ブラインドボックス / ブラインド新設 (レール共)		③ FK(1) の上、EP塗装
	ブラインドボックス・ブラインド (レール共) 新設		④ 木
			⑤ 直天上

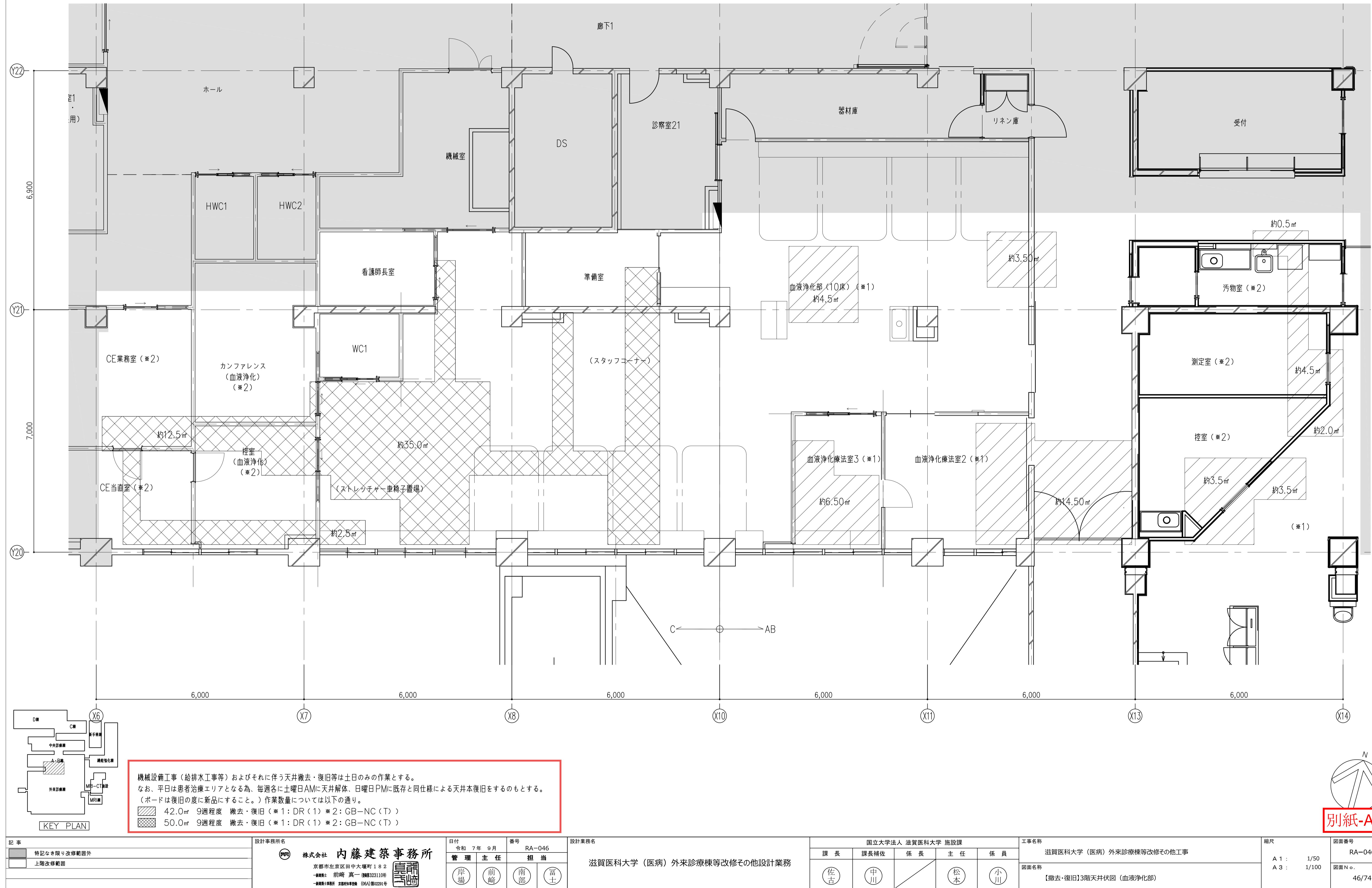
プラインド新設リスト			
室名	W	H	数量
ミーティング室	3,000	1,700	1
倉庫	2,000	1,700	1

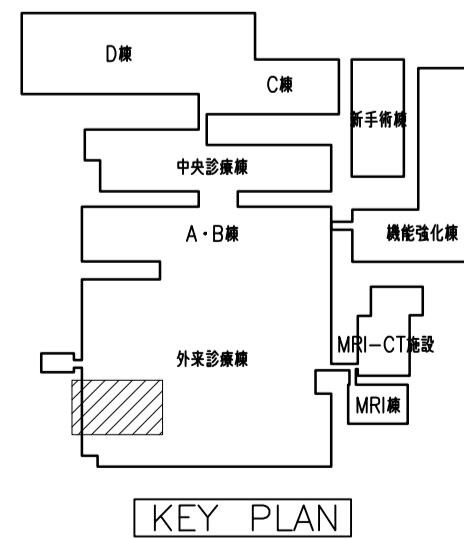
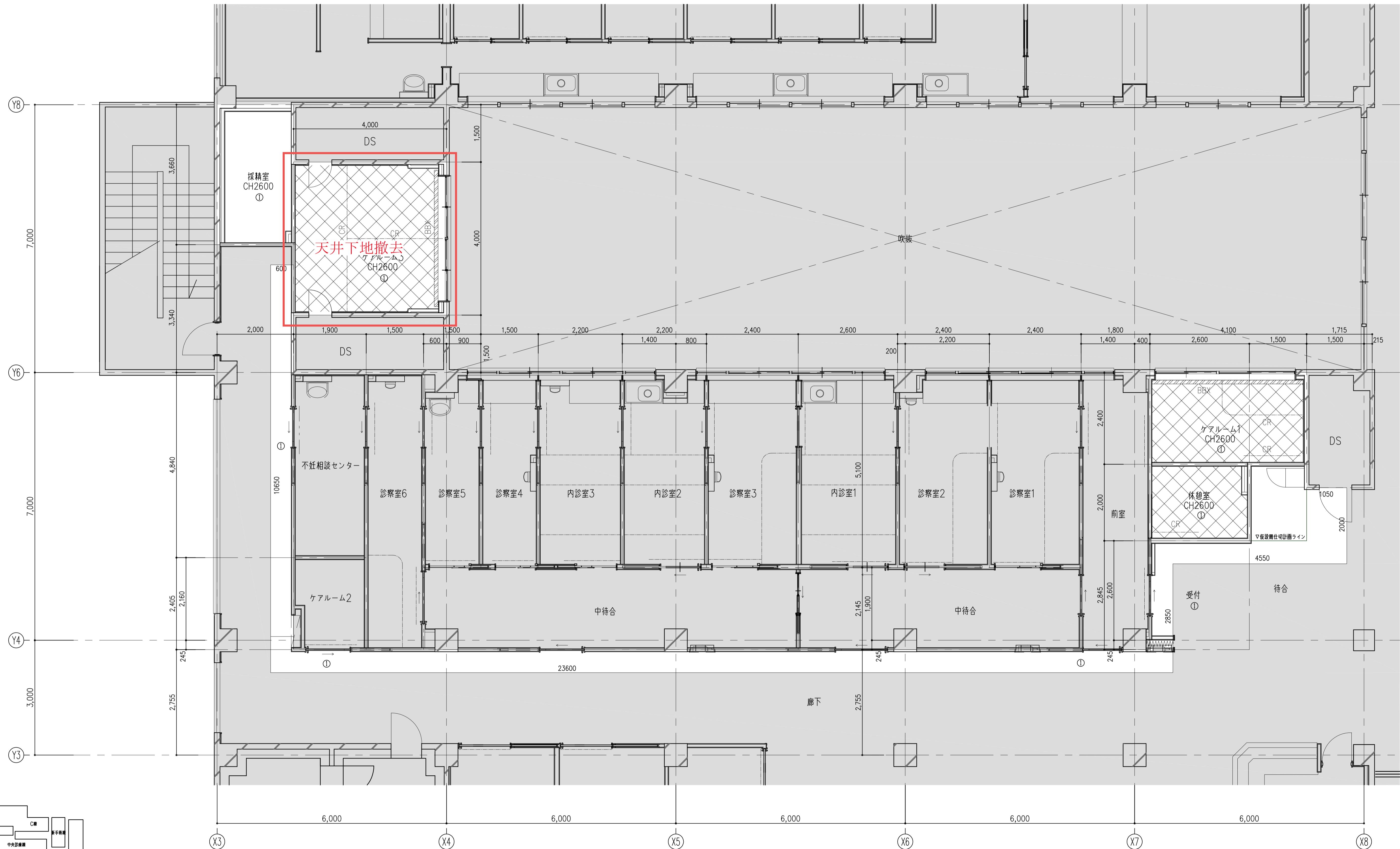


別紙-A09

記事 ※新設AC箇所については機械設備図参照とする。 ※プラインドは本工事とする。(立川プラインド工業 パーフェクトシリキー同等品)	設計事務所名 株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町182 一級建築士 前崎 真一 (登録第323110号) 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	日付 令和 7年 9月 番号 RA-042 設計業務名 国立大学法人 滋賀医科大学 施設課 滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他工事 滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他設計業務 図面名称 【改修後】1階天井伏図(患者支援センター)	工事名称 滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他工事 滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他設計業務 図面名称 【改修後】1階天井伏図(患者支援センター)	縮尺 A 1 : 1/50 A 3 : 1/100 図面番号 RA-042 図面No. 42/73
		管理	主任	担当
		課長	課長補佐	係長
		係員	主任	係員
		佐古	前崎	南部







凡例

特記なき限り改修範囲外
天井撤去範囲（下地 LGS は残置）
天井撤去範囲（下地 LGS なし）
天井残置範囲
プラインドボックス残置／プラインド撤去（レール共）
プラインドボックス／プラインド（レール共）撤去

撤去略語

CR カーテンレール撤去

仕上凡例

①	GB-NC (T)
②	DR (1) (検貼り: GB-Rt12.5)
③	FK (2)
④	木
⑤	直天上

プラインド

撤去リスト

室名	W	H	数量
ケアルーム1	4,000	1,600	1
ケアルーム3	3,550	1,600	1

記事
※設計AC装置及び撤去箇所については機械設備図参照とする。
※既設天井点検口 (450x450) 5箇所程度 撤去
※仮設撤去ラインより外の天井撤去範囲(白抜き)は休日工事にて対応する。(休日材はGB-NC (T))

設計事務所名

内藤建築事務所

京都市左京区田中大堰町182

一級建築士事務所 実験的建築室

(65A)第02291号

監理主任

担当

(岸場)

(前崎)

(南部)

(富士)

日付

令和7年9月

番号

RA-047

設計業務名

滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他設計業務

課長

課長補佐

係長

主任

係員

(佐古)

(中川)

(松本)

(小川)

工事名称

滋賀医科大学(医病)外来診療棟等改修その他工事

縮尺

A1: 1/50

A3: 1/100

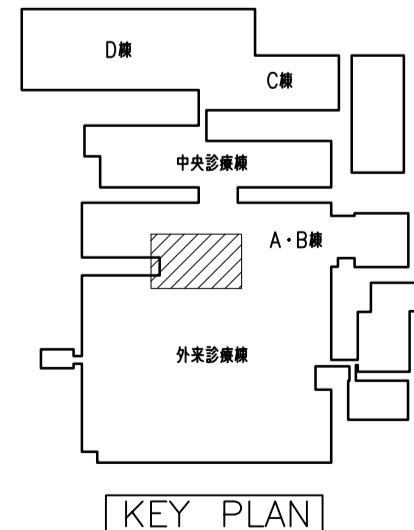
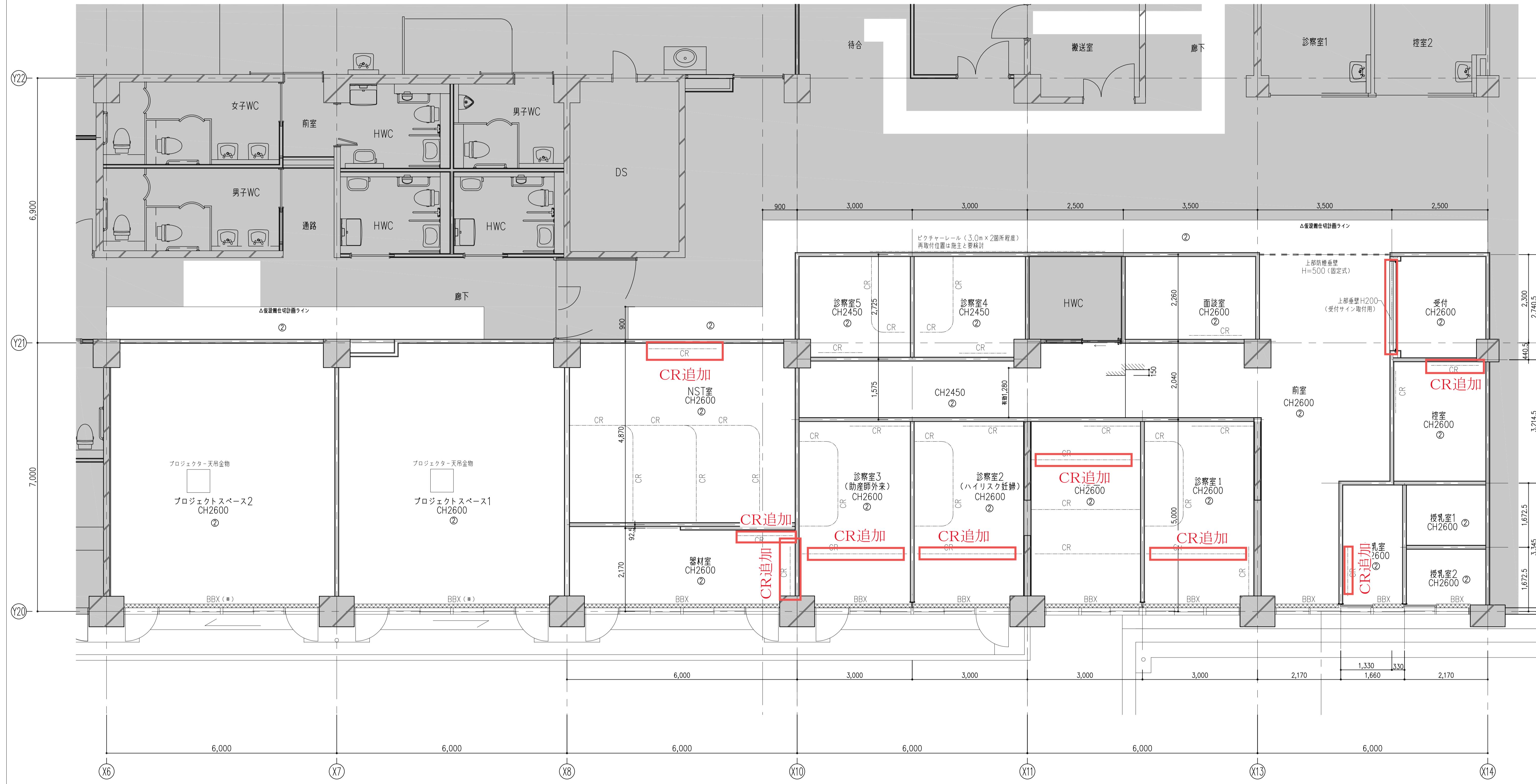
図面番号

RA-047

図面No.

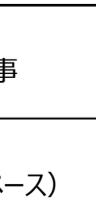
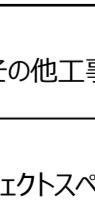
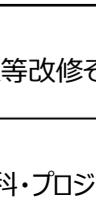
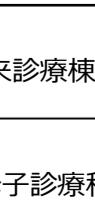
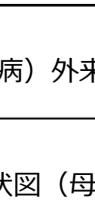
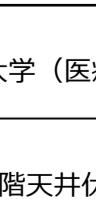
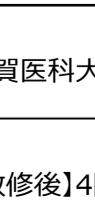
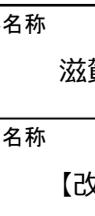
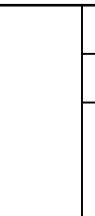
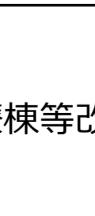
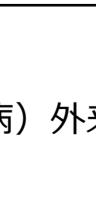
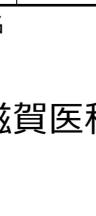
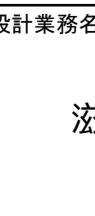
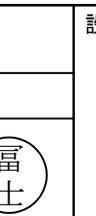
47/74

別紙-A12



記事
※新設AC箇所については機械設備図参照する。
※プライントは本工事とする。(立川プライント工業 パーフェクトキー同等品)

設計事務所名
株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町182
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第02291号



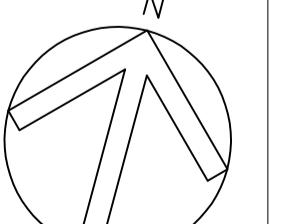
プライント新設リスト							
室名	W	H	数量	室名	W	H	数量
授乳室2	1,050	1,600	1	診察室2	2,650	1,600	1
調理室	765	1,600	1	診察室3	2,650	1,600	1
前室	1,750	1,600	1	器材室	5,300	1,600	1
診察室1	2,650	1,600	1	プロジェクトスペース1	5,300	1,600	1
内診室	2,650	1,600	1	プロジェクトスペース2	5,300	1,600	1

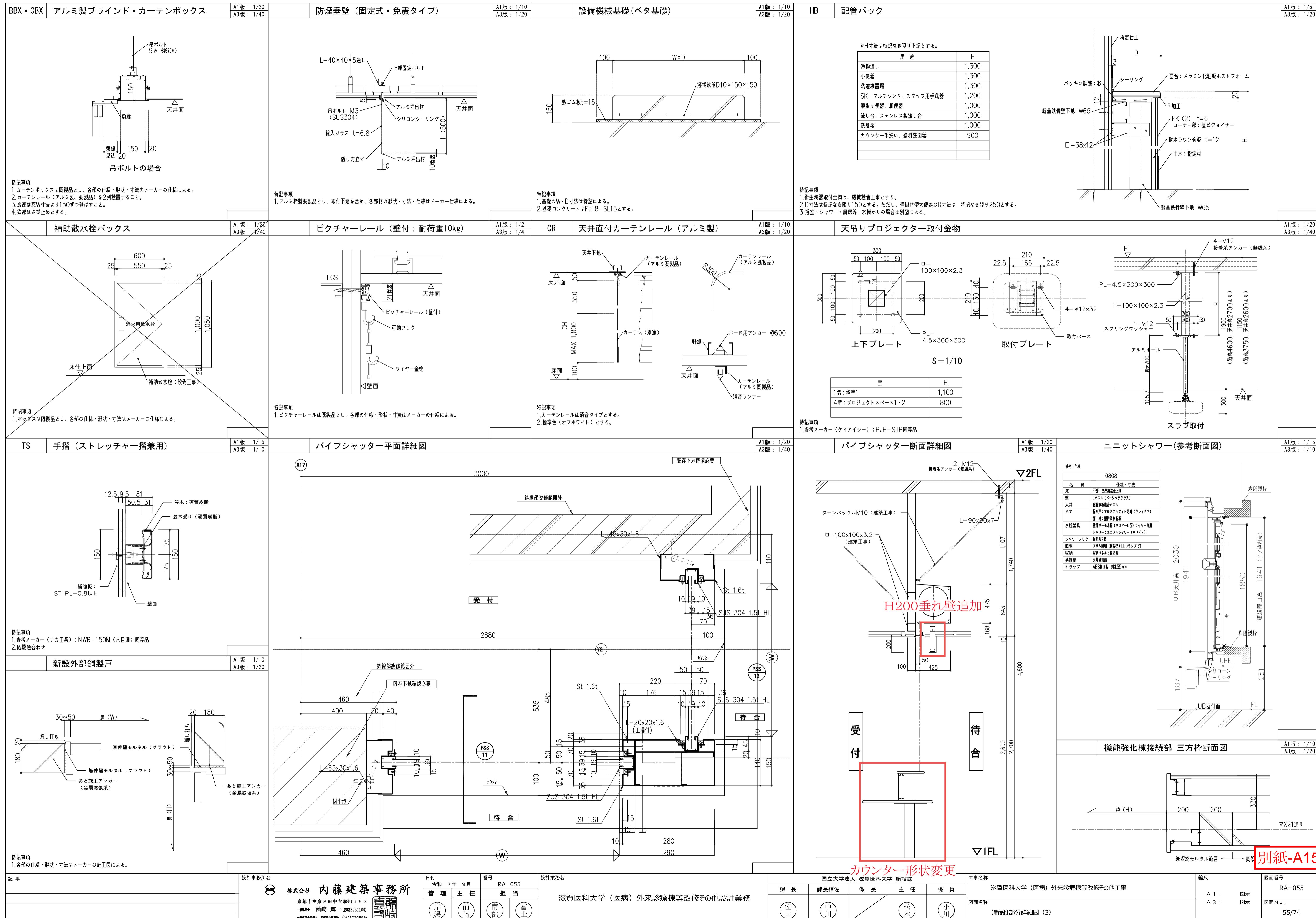
*プロジェクトスペース1・2は塔構造とする。

新設略語
CR カーテンレール新設
仕上R例
① GB-NC (T)
② DR (1) (塗貼り: GB-Rt12.5)
③ FK (1) の上、EP塗装
④ 木
⑤ 直天上

設計業務名					工事名称							
課長	課長補佐	係長	主任	係員	滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他工事							
(佐古)	(中川)		(松本)	(小川)	滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他工事							
滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他工事					縮尺							
[改修後]4階天井伏図(母子診療科・プロジェクトスペース)					A 1 :	1/50	図面番号					
					A 3 :	1/100	RA-050					
					図面No.							
					50/73							

別紙-A14





ミニキッチン

1階：患者支援センター（スタッフ通路兼休憩スペース）
1階：防災監視室（ダイニング）

A1版：1/20
A3版：1/40

部門 室名 家具記号 L寸法

患者支援センター	スタッフ通路兼休憩スペース	KS-1	1200
防災監視室	ダイニング	KS-13	900

参考マーク：リクシル、ナスラック、タカラスタンダード

平面図 排水トラップ付 トップ、シンク:SUS430

流し台

1階：総合診療部（処置室、控室1）
3階：女性診療科（休憩室、子宫鏡検査室）
4階：母子診療科（控室、調乳室、プロジェクトスペース1・2）

A1版：1/20
A3版：1/40

部門 室名 家具記号 L寸法

総合診療部	処置室	KS-11	1200
	控室1	KS-12	900
女性診療科	休憩室	KS-21	900
	子宫鏡検査室	KS-23	1800
母子診療科	控室	KS-31	900
	調乳室	KS-31	900
	プロジェクトスペース1	KS-35	1200
	プロジェクトスペース2	KS-35	1200

平面図 SUSシンク304+1.0

展開図

断面図

展開図

断面図 S:1/10

部分 ■ 1階処置室に設置する KS-11には算不要

KS-14 受付カウンター

1階：総合診療部
受付

A1版：1/20
A3版：1/40

平面図

カウンター形状変更

断面図

KS-15 受付カウンター

1階：総合診療部
守衛室

A1版：1/20
A3版：1/40

廊下側 天板：メラミン化粧合板ポストフォーム加工 小口：ABS樹脂エッジ

守衛室側 天板底面：アングル用溝加工

展開図

断面図

別紙-A16

記事 点線は別途工事とする。

設計事務所名 株式会社 内藤建築事務所 設計業務名 国立大学法人 滋賀医科大学 施設課

日付 令和 7年 9月 番号 RA-060

管理主任 担当

（岸場）（前崎）（南部）（富士）

滋賀医科大学（医病）外来診療棟等改修その他設計業務

工事名称 滋賀医科大学（医病）外来診療棟等改修その他工事

縮尺 A 1: 図示 RA-060

A 3: 図示 図面N.o. 60/74

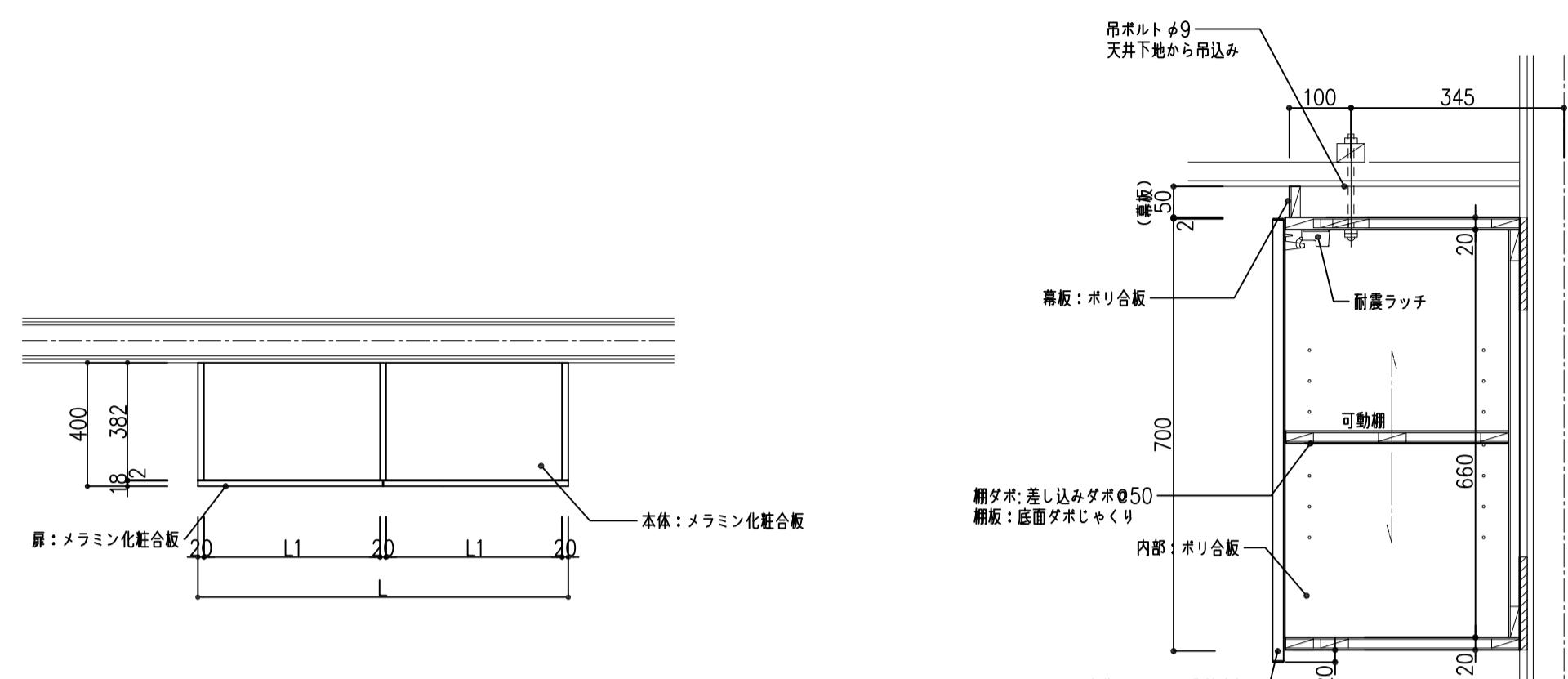
図面番号 RA-060

図面N.o. 60/74

吊戸棚 A1
A3

3階：女性診療科（休憩室）
4階：母子診療科（控室、調乳室、面談室）

部門	室名	家具記号	L寸法
女性診療科	休憩室	KS-22	900
母子診療科	控室	KS-32	900
	調乳室	KS-32	900
	面談室	KS-36	1200

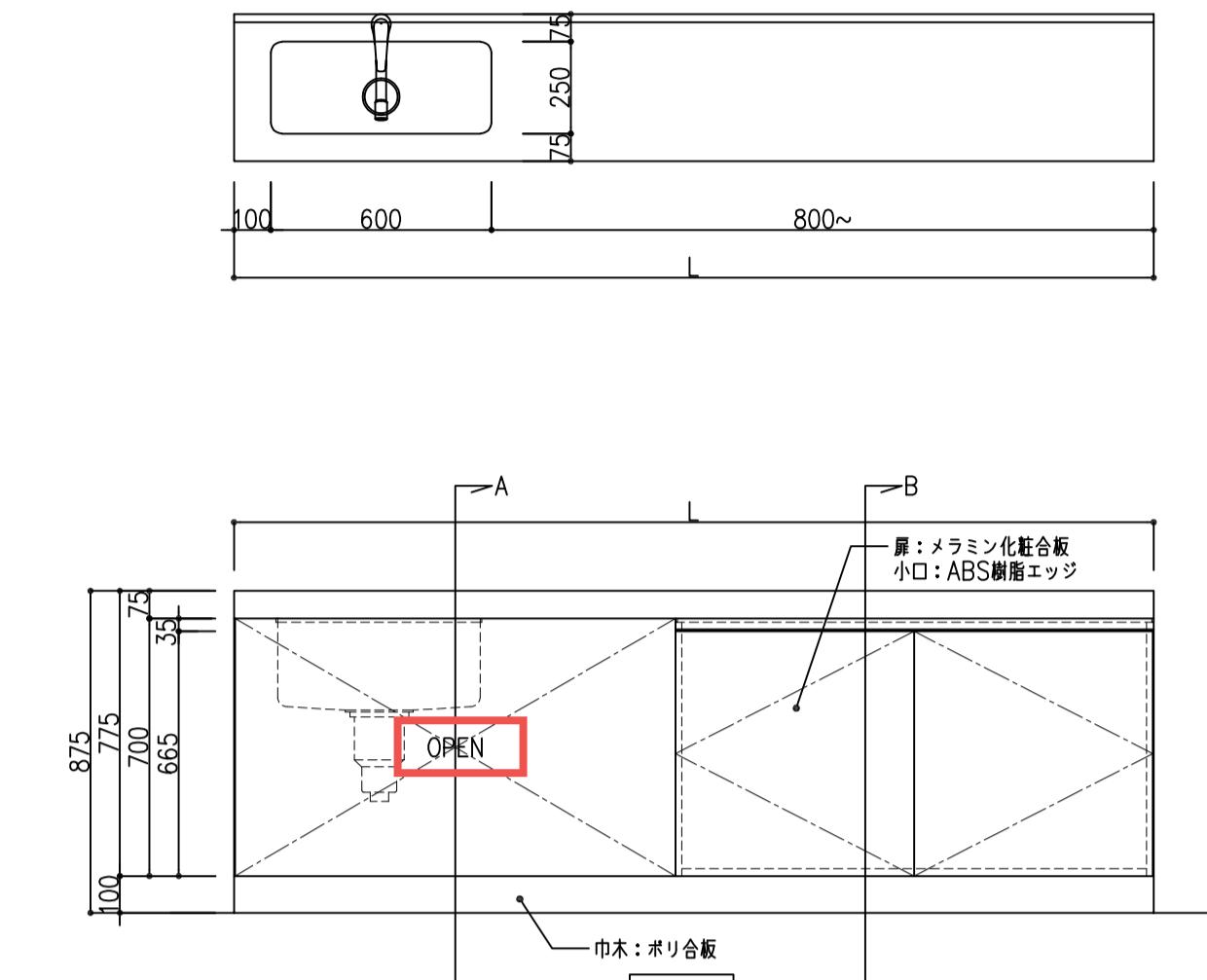
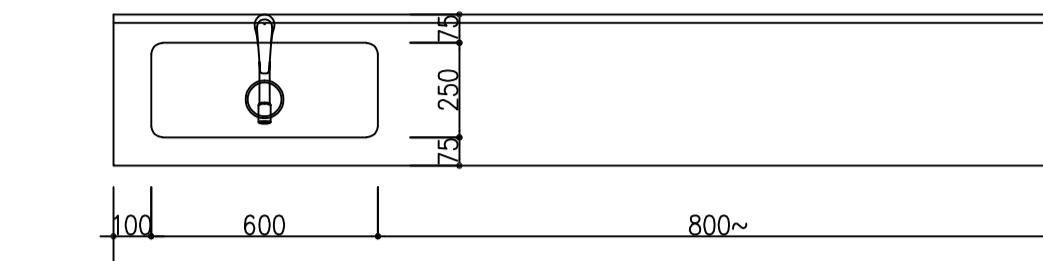


断面図 S : 1/1

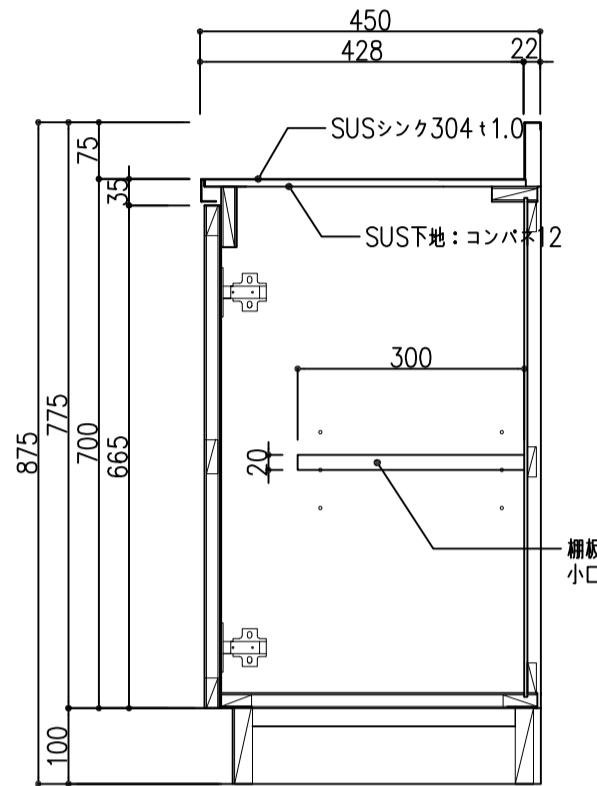
シンク付整理棚

4 階：母子診療科
診察室1・2・3、内診室

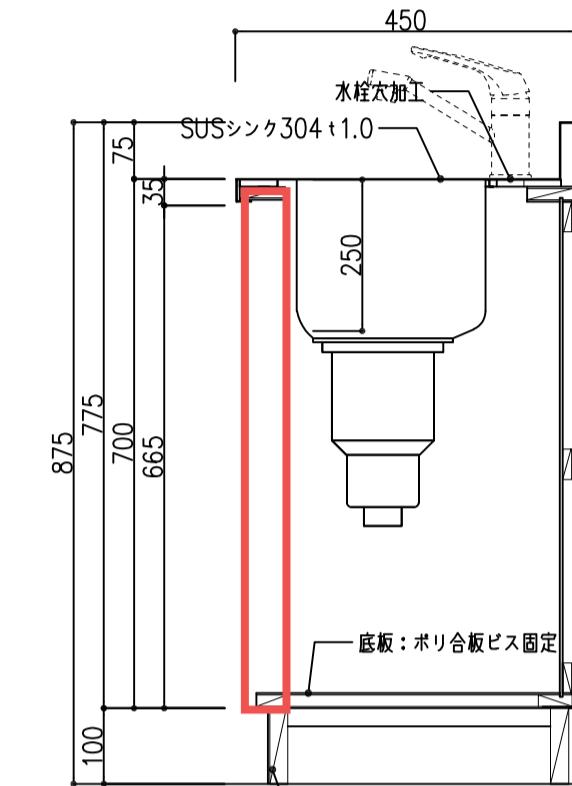
部門	室名	家具記号	L寸法
母子診療科	診察室1	KS-33	2400
	診察室3	KS-33	2400
	内診室	KS-33	2400
	診察室2	KS-34	1500



シンク下、扉取りやめ



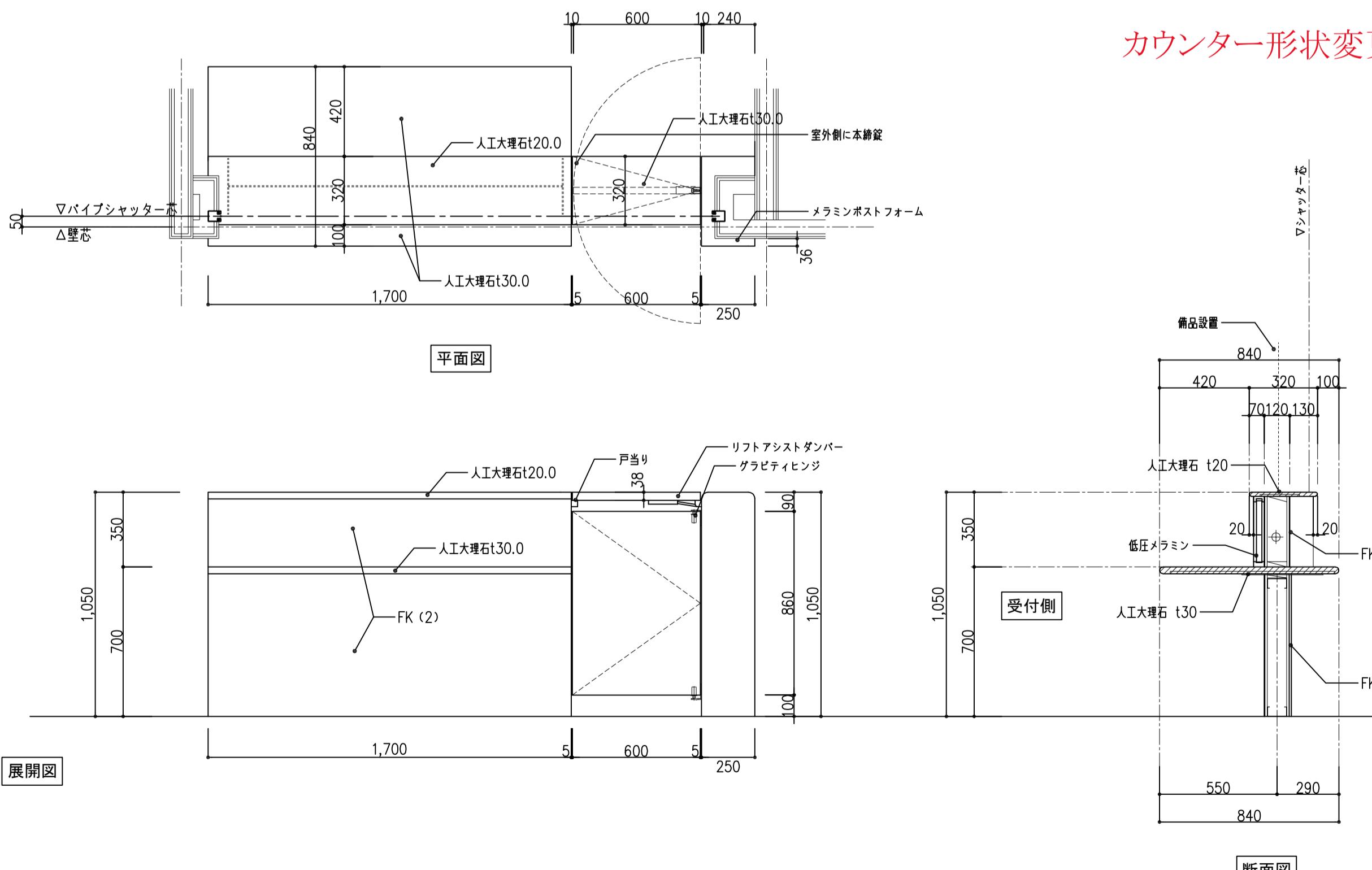
断面図 S : 1/10



A

KS-37 受付カウンター A1
A3

4 階：母子診療科
受付



カウンター形状変更

別紙-A17

記事 点線は別途工事とする。	設計事務所名  株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町182 一級建築士 前崎 真一 (登録第323110号) 一級建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号	日付 令和 7年 9月	番号 RA-061	設計業務名 滋賀医科大学 (医病)

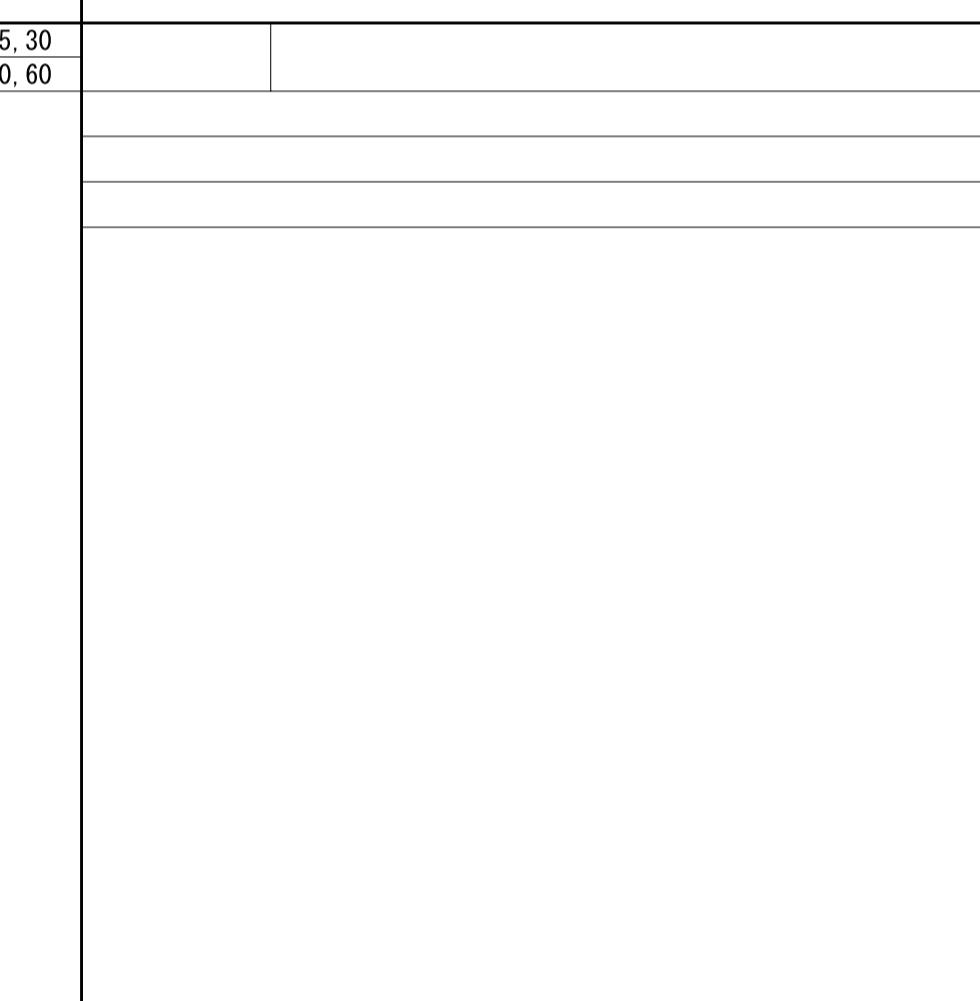
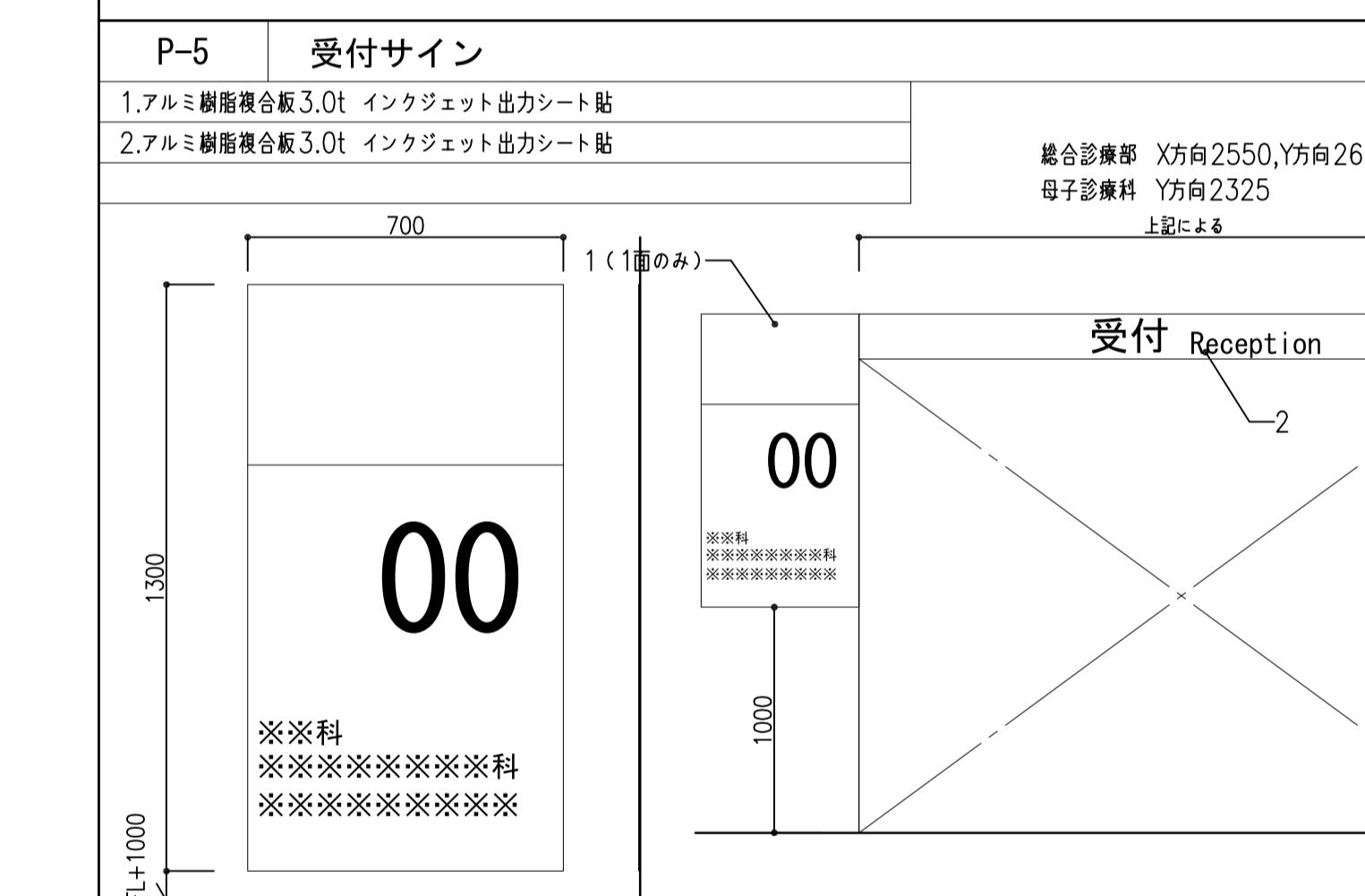
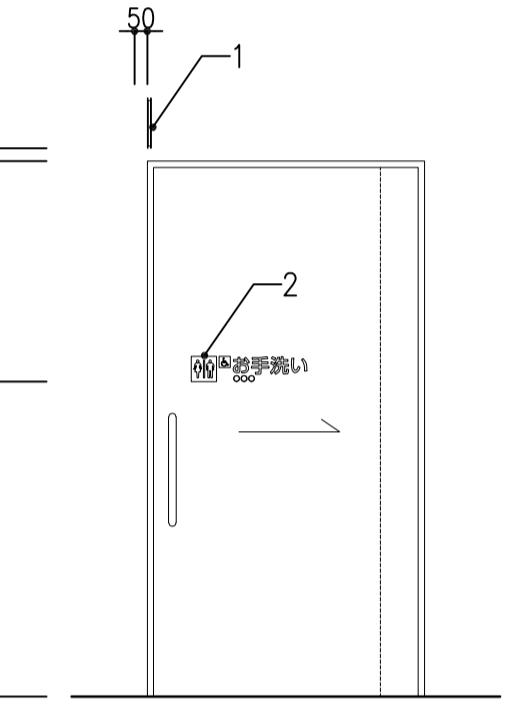
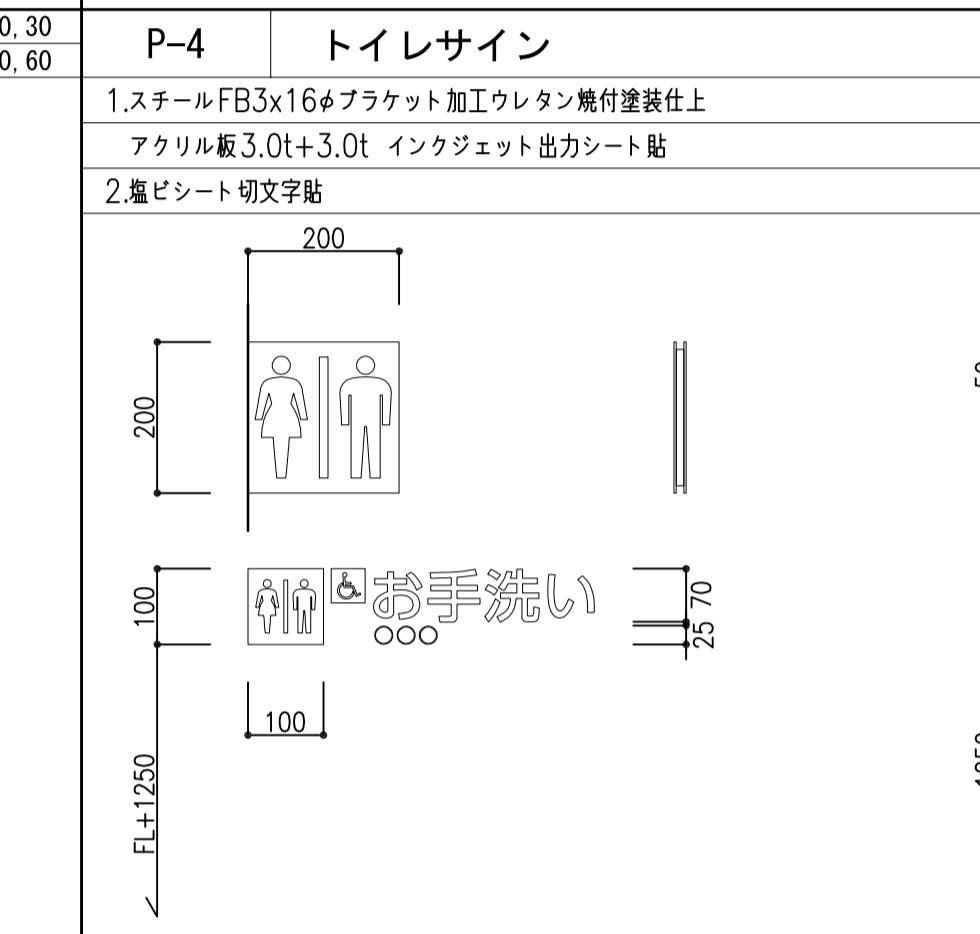
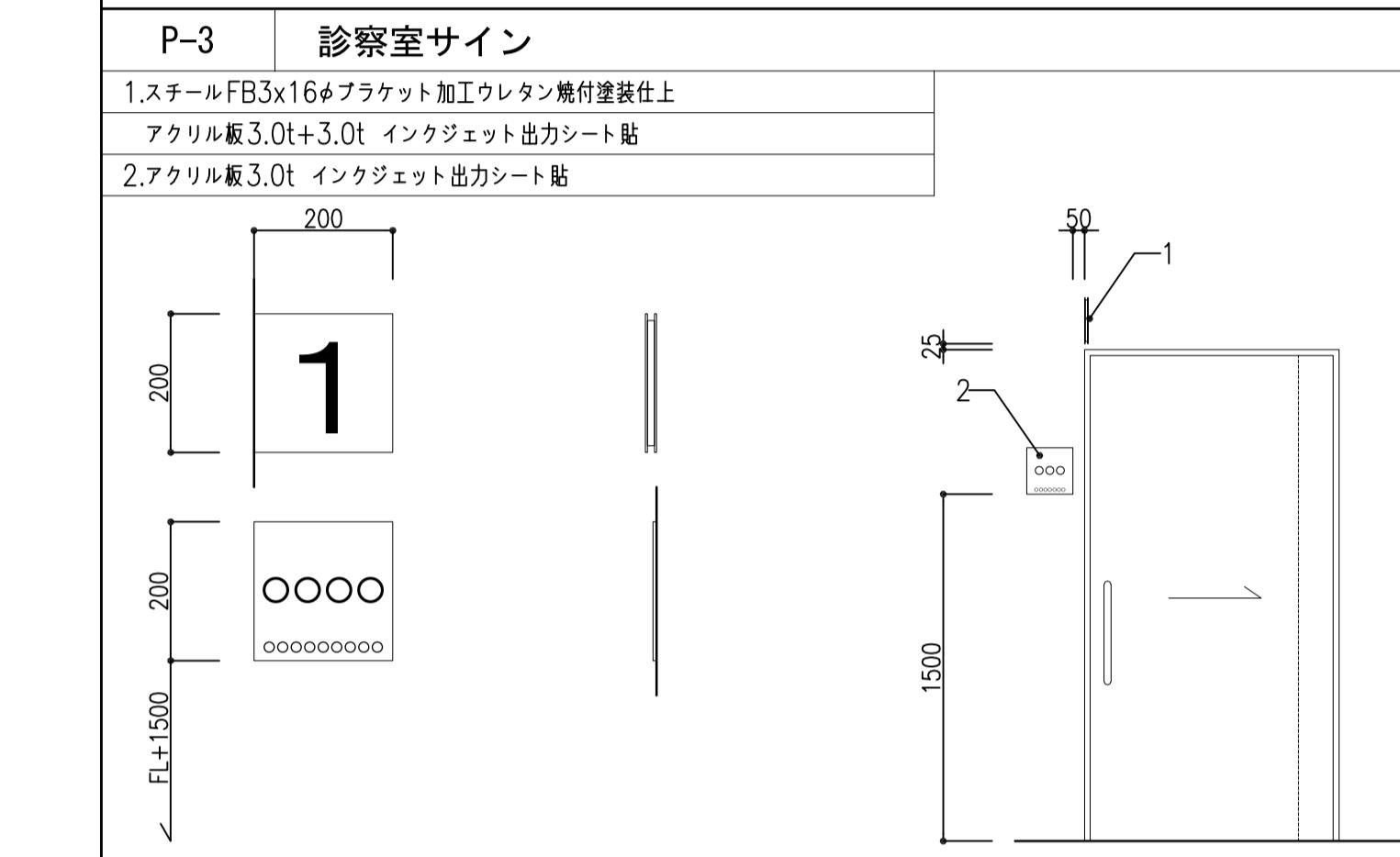
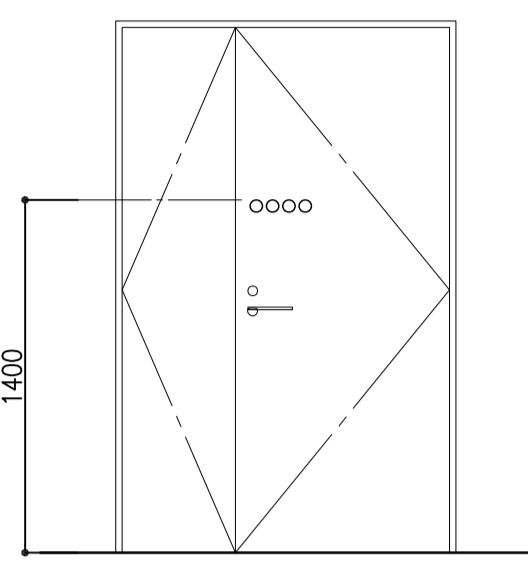
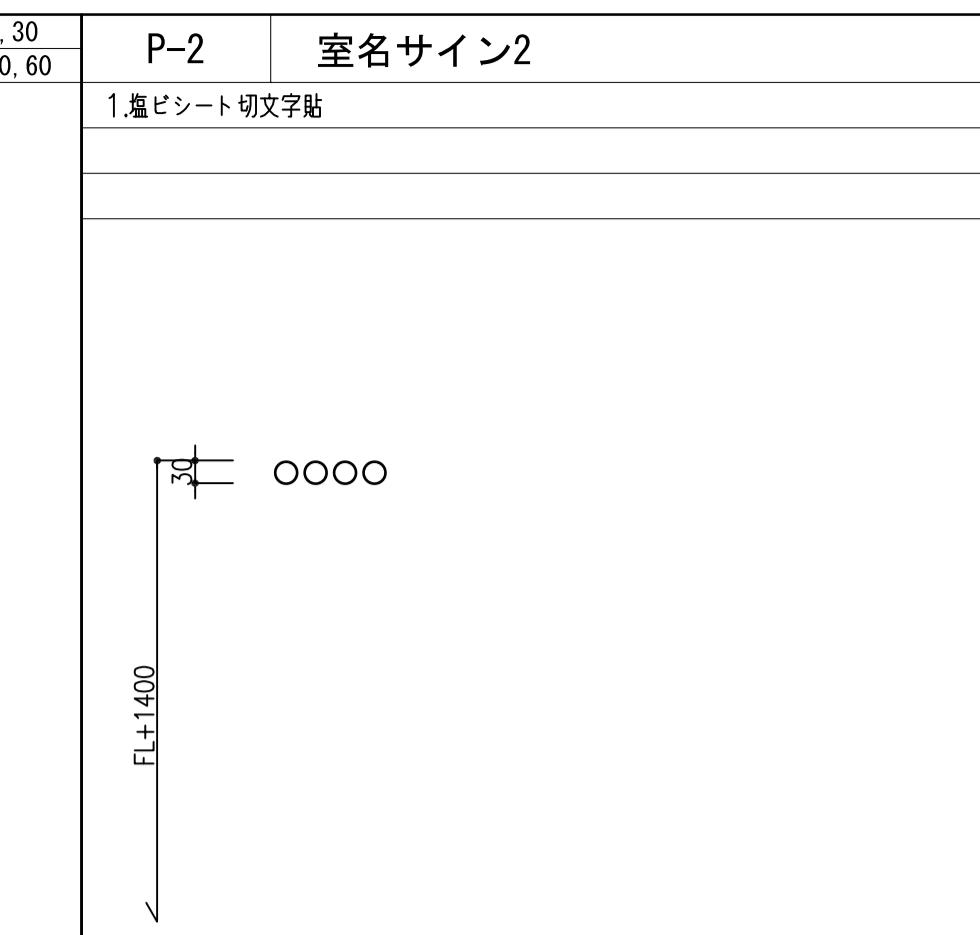
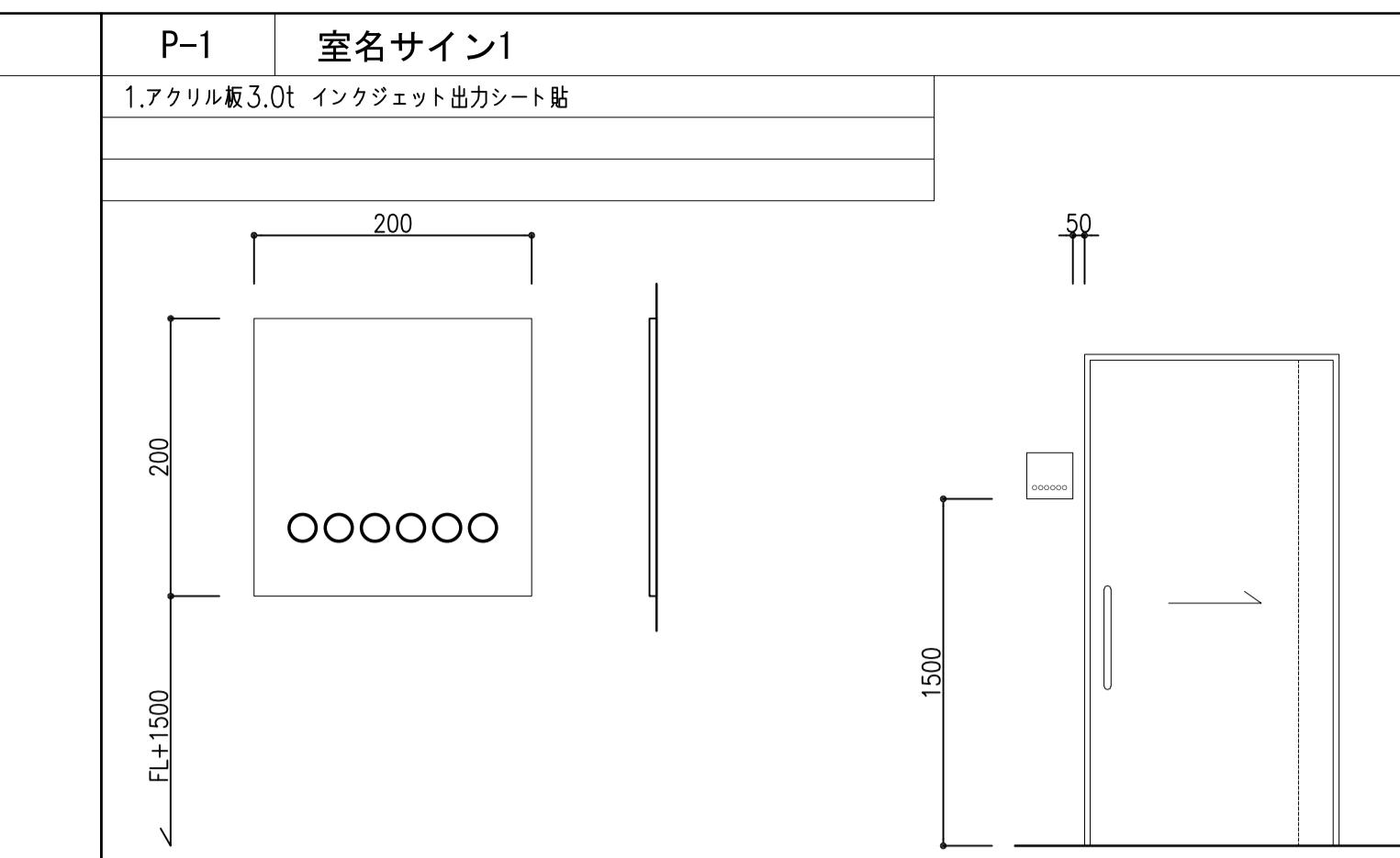
外来診療棟等改修その他設計業務	国立大学法人 滋賀医科大学 施設課					工事名称 滋賀医科大学（医病）外来診療棟等改修その他工事 図面名称 【新設】家具詳細図（2）	縮尺 A 1 : 図示 A 3 : 図示	図面番号 RA-061 図面No. 61/74
	課長	課長補佐	係長	主任	係員			
	佐古	中川		松本	小川			

サイン工事特記事項

1. 総記	本設計図書は、特記事項・サインキープラン・意匠図からなる										
2. 表示基準	<p>サインキープラン・意匠図は、サインリスト中の記号により示す。</p> <p>書体 和文書体 BIZ UD ゴシックを使用する。 欧文書体 BIZ UD ゴシックを使用する。</p> <p>和文表記基準 固有の施設名称は原則として正式名称を使用する。 例外：表示面の繁雑化を防ぐために、名かに理解される範囲で、省略できる部分を省略してもよい。 アルファベットによる名称が慣用化されている場合には、それを用いてもよい。</p> <p>欧文表記基準 原則として、固有名詞の部分はローマ字で、普通名詞の部分は英訳によって表記する。 ただし、慣用上固有名詞と普通名詞に切り離せない場合は、普通名詞の部分も含めてローマ字による表記とする。 ローマ字の表記はヘボン式とする。</p> <p>その他 棟名については国際化への対応を考慮し、和文。欧文併せて表記するものとする。</p>										
3. 表示要素の レイアウト	<p>表示デザインは文字・ピクトグラム・フロア平面等の要素を下記の点を考慮して決定する。</p> <p>ピクト・文字数等は現場指示による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 視認性の良さ 表示板としての美しさ <p>具体的には<文字の大きさ>と<余白の確保>、<表示板における表示要素のプロポーション>を考慮し、指針を提示する。</p> <p>文字の大きさ サインに使用する文字の文字高については最低10mmとする。 (サイン図面内の室名表示のみ、例外として3.5mmとする。)</p>										
	<p>文字高の最低基準寸法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">情報の種類</th> <th colspan="2">文字高</th> <th rowspan="2">左記の和文の判読距離</th> </tr> <tr> <th>和文</th> <th>欧文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案内図</td> <td>10mm～</td> <td>6mm～</td> <td>1.7m～</td> </tr> </tbody> </table>	情報の種類	文字高		左記の和文の判読距離	和文	欧文	案内図	10mm～	6mm～	1.7m～
情報の種類	文字高		左記の和文の判読距離								
	和文	欧文									
案内図	10mm～	6mm～	1.7m～								
4. 基本要求品質	<ol style="list-style-type: none"> サイン工事に用いる材料は、所定のものとする。 サインは、所定の形状および寸法を有し、所定の位置に強固に取付ける。 サインは、設置する建築物の用途、設置場所に応じた視認性を有するように設置する。 サインに記載する文字などは、所定の大きさおよびデザインを有し、ゆがみなく、またバランスよく配置する。 サインは、所定の外力や建築物の変形、温度伸縮に対して破損、脱落、振動などがなく安全なものとする。 人が触れる可能性がある場所に設置するサインは、寄りかかりや座りなど建築物の用途に応じた通常の仕様に十分耐えうる強度を有し、使用時または不慮の衝突などの際の傷害防止に配慮する。 										
5. 性能	<ol style="list-style-type: none"> サイン工事の性能値は、耐風圧性能、耐震性能等の荷重条件に対して、倒壊、脱落、破損などがないものとする。 その他の性能値は、設計図によるほか、定めのない規定は建築基準法ほか、関連法令、日本建築学会「建築工事標準仕様書（JASS14）」、日本建築学会制定各種指針の規定及び「建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）」に準拠する。 										
6. 見本など	<ol style="list-style-type: none"> 仕上材は、工事に先立ち見本を提出して、監督職員の承諾を受ける。 設計図書に基き必要な製作図、施工図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 使用する材料および、その仕上げ色彩などについては、実物見本やモックアップ等を製作し監督職員の承諾を受ける。 										
7. 関連法規、官公署 その他への手続きなど	<ol style="list-style-type: none"> 工事の施工、サインの使用開始などに必要な官公署その他への手続は、請負者が速やかに行う。 建築基準法、消防法、広告物条例その他関係する法令・指針を事前確認の上、必要に応じて官庁打合せを行いこれを厳守する。 										
8. 材料及び工法	<ol style="list-style-type: none"> 材料は、全て形状正しく、有害はきず、さびなどない新品を使用すること。 材料の種類、品質、形状、寸法、色調、仕上などは設計図による。設計図に記載がない場合は中等品とする。 アルミニウム合金版はJIS H 4000、アルミニウム押出し方材はJIS H 4100により、それぞれ強度及び表面処理に応じた材質のものとする。 										
9. 表示方法	<ol style="list-style-type: none"> 書体及び絵文字（ピクトグラフ）は設計図による。 文字寸法及び間隔は設計図による。 文字および図形などの拡大または縮小は、データ・指定原盤などは忠実に再現する。また拡大時の変形は入念に修正し監督職員の承諾を受ける。 塗料または染料は製造者及びアッセンブルメーカーの仕様による。見本を提出し監督職員の承諾を受ける。 ラミネート処理は、熱による変形及び剥離が生じないよう適切な処理を行って圧着する。 										

新設サイン

記号	サイン名	サインタイプ	患者		総合			備考
			合計	1階(1)	1階(2)	3階	4階	
P-1	室名サイン1	壁付	17	1	7	0	9	
P-2	室名サイン2	扉シート貼	27	10	9	1	7	
P-3	診察室サイン	突出・壁付	9	0	3	0	6	
P-4	トイレサイン	突出・扉シート貼	1	0	0	0	1	
P-5	受付サイン	壁付	2	0	2	0	2	



新設サイン

記号	サイン名	サインタイプ	合計	患者		総合		備考
				1階(1)	1階(2)	3階	4階	
P-1	室名サイン1	壁付	17	1	7	0	9	
P-2	室名サイン2	扉シート貼	27	10	9	1	7	
P-3	診察室サイン	突出・壁付	9	0	3	0	6	
P-4	トイレサイン	突出・扉シート貼	1	0	0	0	1	
P-5	受付サイン	壁付	3	0	3	0	2	

別紙-A18

記事		設計事務所名			日付	番号	設計業務名	工事名称		縮尺	図面番号			
		株式会社 内藤建築事務所 京都市左京区田中大堰町182 一級建築士 前崎 真一 (登録323110号) 一般建築士事務所 京都府知事登録 (06A)第02291号			令和7年9月	RA-062	国立大学法人 滋賀医科大学 施設課		滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他工事		A 1 : 図示			
			管理	主任	担当		滋賀医科大学 (医病) 外来診療棟等改修その他設計業務		課長	課長補佐	係長	主任	係員	RA-062
													A 3 : 図示	
													図面N.o. 62/74	
							図面名称 サイン詳細図							